

1978 (毎月1回行)

9月号

(村の面積)
332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和53年8月1日現在)

村の人口	
総人口	1,785人
男	912人
女	873人
出生	3人
死亡	1人
転入	8人
転出	14人
世帯数	536世帯

稲穂の実る秋

和泉村から
交通事故を
なくそう



農繁期における 事故防止!

秋の農繁期は、コンバイン脱穀機、乾燥機等の使用による農作業事故がみられます。

このような事故発生を防止するためにも次の点に十分に注意して下さい。

① コンバインの作業について

整備やわらがつまった際は、必ずエンジンを止めてから取り出しましょう。

② 乾燥機の使用について

乾燥機のまわりは、いつもきれいにしておき、燃えやすいものは置かないようにし、火災の発生防止に努めましょう

③ 道路の走行について

コンバイン、トラクター、トラックなどで、道路を走る時には、交通ルールを守り周囲の状況をよく把握し、転落や衝突などの事故を起こさないよう気をつけましょう。

以上の点に充分注意して下さい。

みなさん、秋は体が過労しやすい時期ですから、無理のない作業計画をたて事故のない実りの秋を迎えましょう。



就任の挨拶

議長 三 嶋 利 夫

去る七月二十五日の臨時議
会に於きまして、不肖私が、
議員各位のご推挙により村議
会議長の要職につくことにな
り、誠に身に余る光栄でござ
います。

れ議会といたしましては、い
たずらに摩擦を起こすことは
避けるとともに、安易な妥協
に陥ることがあつてはならな
いと存じます。

本村は現在、幾多の重要な
問題をかかえておりますので
理事者、議会が正しく相たず
さえ村勢発展のために努力し
以つて、村民皆様の信託にこ
たえなければと考えておりま
す。

然しながら浅学非才であり
まして、その器ではないこと
はよく承知しておりますが、
お引き受け致しました以上は
職務の重大さを痛感し一身を
挺してその任務に全力を尽く
す覚悟であります。

村民各位の一層なるご支援
とご協力のほどをよろしくお
願い申し上げ、就任のご挨拶
といたします。



就任の挨拶

副議長 工 藤 勝 雄

過日行なわれた臨時議
会において副議長のご推挙
いただき、その責務の重大さ
に身のひきしまる思いでござ
います。

本村は、重要課題である過
疎対策の一環として、特定山
村振興パイロット事業も二年
目を迎え、さらに国民休養地
の整備事業も本年着行の運び

となり人口流出対策、人口誘
引の基礎づくりが着々と進め
られつつあるのも、村民各位
のご理解とご協力によるもの
であります。

また、油坂ずいどう改良工
事、越美線全通促進等の難問
をかかえておりますが、こ
れらについて、近況明るいき
ざしが見えつつありますが、
なお一層の強力な促進運動が
必要であります。

一方、農林水産業の振興も
その成果が向上されてきてお
りますが、さらに促進してい
かなければなりません、合わ
せて観光資源の見直しを行な
い、大自然の恵まれた景観を
充分生かし、効果ある投資が
望まれます。

村の過半数の人口をかかえ
ている中竜鉾山も、相次ぐ円
高による不況の波をまともに
かぶり危機に直面しておりま
す。この度、救済処置として
村の制度融資が決定されたが
これのみでは、とうてい救済
できるものではありません。
今後、融資措置等について強
力な運動をさらに展開してい
かなければなりません。
こうした大事な時期を迎え

その責任の重大さを痛感いた
しております。微力ござい
ますが、村民各位の一層のご
指導とご協力をお願い申し上
げ、就任のご挨拶といたしま
す。



ご成人

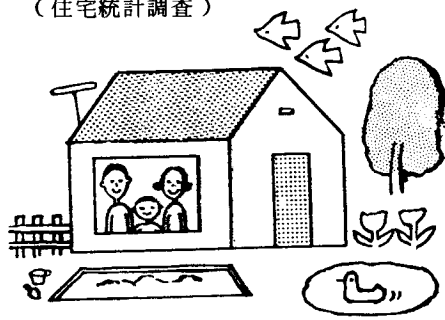
おめでとう

旧盆の八月十五日、恒例の
「お盆の成人式」が役場三階
議場で行なわれ、新成人二十
名のうち九名が出席しました
式は午前九時四十分から始
まり、村長の挨拶に続いて、
工藤副議長、宮原教育委員長

ら来賓から暖かい激励や祝福
のこたえを受け、記念品が一
人一人に贈られた。
これにこたえ新成人を代表
して高崎ますみさんが誓いと
お礼のこたえを述べました。
※該当者

昭和三十二年四月二日生	昭和三十三年四月一日生	者	住所	氏名	性別
			貝 皿	吹屋美千代	女
			貝 皿	久保田真由美	女
			伊 月	高崎ますみ	女
			後 野	三島 政昭	男
			川 合	上野 英一	男
			朝 日	中村 啓一	男
			朝 日	表 清和	男
			朝 日	加藤 篤子	女
			朝 日	吉村 真弓	女
			朝 日	新屋きよみ	女
			下 山	林 雅彦	男
			角 野	木屋 義信	男
			上大納	高崎美恵子	女
			上大納	佐藤 洋子	女
			上大納	京谷 誠子	女
			上大納	畑口 博文	男
			上大納	藤木 順子	女
			上大納	井上百合子	女
			上大納	島谷 洋子	女
			上大納	米村 弘子	女

(住宅統計調査)



住宅統計調査に

ご協力を!

「十月一日全国一斉に実施」

五年に一回実施される「住宅統計調査」が十月一日、全国いっせいに行なわれます。

この調査は、日本全国でどこに、どのような建て方、構造、規模の住宅がどのくらいあり、またどのような世帯がその住宅に居住しているかを調査します。そして、いわゆる狭い、遠い、高いなど、住宅に困っている世帯がどのくらいあり、それはどの地域に多いかなどを明らかにするとともに、過去の調査と比較することによって、住宅の状況や世帯の居住状態がどのよう

に変わってきているかなどを明らかにすることを目的としています。

調査の結果は、これからの住宅政策を進めるうえでの基礎資料となります。

なお、本村におきましては貝皿、川合及び上大納の一部が調査の対象となりましたので、調査員が各家庭へ訪問し調査を行なう際は是非ご協力くださるようお願いいたします。

年金コーナー

国民年金を受ける

には「裁定請求」を

国民年金は、支給条件を満たしているも、ご本人からの「裁定の請求」がないと支給されません。

そこで、年金を受けられると思う人は、必ず住所地の市区町村長に「裁定請求書」を提出してください。この請求書には、年金手帳、戸籍抄本（障害年金の場合はこのほか医師又は歯科医師の診断書）など年金を受けるに必要な資料をつけることになっていま

「訪ソ婦人の船」に参加して

飯島喜代子
山本 紀子

一九七八年「訪ソ婦人の船」に一員として和泉村より山本・飯島の二名参加させて戴き七月二十七日から十三日間にわたり、ハバロスク、モスクワ、レニングラードを中心として参りました。

モスクワの飛行場に到着してまず眼に入った白樺の林、なんて広くて素晴らしいんだろ、日本にもこのような広い土地があつたなら成田空港のような問題は起きなかつたのではないかしらと……。

期待の「赤の広場」おとぎ話しにでも出てくるような建物中近東に見られそうな色あざやかな数々の建物、一時間毎に交替の衛兵等を見学して訓練のすばらしさと恐ろしさを感じさせられました。

モスクワ、レニングラードと何処の街に行っても感じましたことは、人声の静かなこと、話すことはとても好きな国民らしいのに大きな声は少

しも聞こえないのです。高いビルが立ち並ぶ街の中どちらを見わたしても、日本の広告による感じは全然見あたらない、すっきりと清潔な感じですが、せせこましい日本人の感覚からしますとちよつぱり淋しい気がしないでもありませんでした。

国全体が広いからでしょうか、街なかの歩道が広くゆったりしており、車道と歩道の間には幅広い並木があり、ああ、これならゆつくりとした散歩が出来るなあと、感銘をうけるものばかりで、しみじみ来てよかつたと感じました

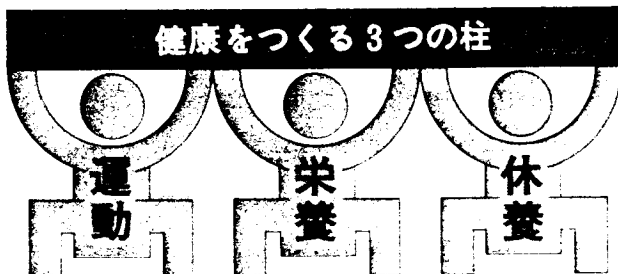
なお、研修旅行の一つの目的でもあつた各所の訪問先、幼稚園、縫製工場、婦人委員会等のどこへ行つても必ず聞かされた「平和と友好」という言葉、本当に私達日本人も心から、何時も平和を願っているのです。ついつい平穏な普段の生活に慣らされて忘れがちになつてしまふことを思い知らされると同時に、間近に来る三十三回めの敗戦の日を改めて思いかみしめました皮膚の色、目の色は違ついても人情に変わりはないこと

健康をつくる

三つの柱

を、人なつこいソ連の人々の表情から痛切に感じました。今後このような「訪ソの船」に誰方かのご参加を心より願つていきます。又違った角度からの見聞が聞かせて戴けるものと思ひます。

「食べる」 「体を動かす」
「休養する」この三つは、私たちが健康をつくる上でもっとも大切なことです。



郵便局だより

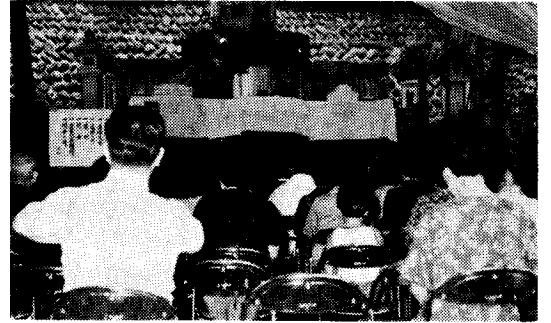
町や村づくりに役立つ ている簡易保険

資金総額十兆円突破 運用再開二十五周年

広く国民の皆様が親しまれている郵便局の簡易保険は皆様の深い御理解と温かい御支援により、本年七月四日資金総額が十兆円を突破いたしました。

このぼう大な資金は、将来保険金、配当金としてお支払いする大切な財産ですから、確實、有利、しかも公共の利益となるよう、郵政省が独自の立場で運用してまいりましたが、本年は丁度二十五周年にあたります。

この資金の大部分は、国の財政投融资計画に協力して運用しておりますが、具体的には県、市町村などに融資して学校、公営住宅、道路などの公共施設の建設や生活環境整備など明るい町、住みよい村づくりに大きな貢献をしております。



戦没者の慰霊祭

行なわれる

八月十九日午前九時より忠霊塔前において慰霊祭が行なわれた。

この日、知事代理（高志福祉事務所長）大野郡市温交会長等の来賓多数が参列され、香煙のたちこめる中を、しめやかな読経につれて遺族六十数名の方々がありし日を偲びながら思いを新たに泉下の霊に冥福を祈られました。

第30回福井県民体育大会

ソフトボール ベスト4に進出なる

八月十四日から三日間開催された県民体育大会において本村の派遣選手団は、よく健闘し、特にソフトボール競技にいたっては関係役員もその気力と技を讃えていました。

結果、軟式野球は小浜市、軟式庭球は坂井郡に、善戦及ばず敗退、ソフトボールは一回戦三方郡、二回戦鯖江市に快勝、ベスト4に進出しましたが、準決勝で強豪大野市に惜しくも敗れました。

いずれも選手層の若返りと強化をはかり、来年以降の大会での活躍を期待したいところです。

親善ソフトボール大会 行なわれる

和泉村スポーツ少年団

去る八月十日、恒例のスポーツ少年団ソフトボール大会が開催されました。

各団の先生や父兄方の熱心な指導でチーム力も充実し、実力伯仲、手に汗握る好ゲームを展開しましたが、わずかに総合力でまさった中竜第一分団Aが優勝、あわせて八月二十七日、福井市で開かれる県子ども会ソフトボール大会の代表権を得ました。

十月一日は法の日です

登記及び人権の無料相談

土地や建物の登記（表示、分筆測量、売買、相続等）や商業法人登記及び人権擁護に関する問題についての「無料相談所」を左記のとおり開設します。皆様お気軽にご相談下さい。

記

一、日時

十月一日

午前十時～午後三時

一、場所

有終会館第4会議室
（市役所南隣）

主催 福井司法書士会
福井土地家屋調査士会

人のうごき

▼赤ちゃん誕生

下山 谷 真由子 秀明二女
朝日 美濃島由典 正典長男



真由子ちゃん



由典ちゃん

▼死亡

後野 古嶋 しず

七十五才

